

「福島浜通りトライデック」2021年度事業計画

(基本的な考え方)

長期のゴールだけではなく、半年程度以内に達成できる幾つかの小さなタスクを設定し、それを達成することにより、「福島浜通りトライデック」の存在と価値を地域社会、地方公共団体、国等に示す。

1 調査研究の実施

- ・米国ハンフォード地域の経済発展とその福島浜通り地域への適応に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の復興状況と今後の課題等に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の経済発展に資するニーズ等のマーケット調査
- ・「創造的文理融合型人材」育成のための教育研究プログラム開発に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の歴史・文化に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の観光の再発見に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の暮らしを再生する地域貢献と社会活動のプロモーションに関する調査研究
- ・その他福島浜通り地域の新たな視点からの復興創生に資する調査研究

2 福島県内若手研究者支援基金設立に関する検討

1に記述した調査研究を推進するため、福島県内の高等教育機関に在籍する若手研究者に対する研究支援基金の設置(2022年度予定)を検討する。

3 ハンフォード地域の現地調査 (2022年3月予定)

- ・ワシントン州立大学トライシティーズ校、コロンビアベイスン短期大学との包括連携協力協定締結に向けた調整
- ・ハンフォード・トライデックとの包括連携協力協定締結に向けた調整

- ・福島浜通り地域の地方公共団体の首長等のハンフォード地域への派遣(2022年夏頃目標)に関する連絡調整
- ・福島浜通り地域の学生、若手企業人等のハンフォード地域への派遣(2022年夏頃目標)に関する連絡調整

4 福島浜通り地域の復興創生に関するビジョンの作成

若い人を含む主な会員に、ビジョンの基本的な方針や考え方に関するアイデアを提案してもらおう。2021年度は、それらを印刷物(本)に取りまとめ、その後、それらのアイデアを基に、「福島浜通りトライデック」としてのビジョンを取りまとめていく。これをもとに「福島浜通りトライデック」の活動方針等について必要に応じ見直す。

5 福島浜通り地域の復興創生に関するセミナーの開催 (2021年冬頃)

テーマ案・・・廃炉・ロボット、農業、観光等

6 提言書等の取りまとめ

国際教育研究拠点の活動内容等に関する要望書の取りまとめ

(2021年秋頃)

7 復興創生に取り組んでいる関連組織との関係構築・連携強化

8 会員拡大、広報活動の強化

- ・浜通り南部のみならず、北部及び中部地域への展開

(地方公共団体、商工会等との連携)

- ・会員数の拡大(役員、顧問、評議員からの紹介、ウェブサイト等)